

修士課程入学試験 よくある質問(Q&A)

○出願書類

Q: 出願にあたり事前に指導を希望する教員と連絡をとる必要があるでしょうか。

A: 特に必要ありません。

Q: 募集要項は HP からダウンロードできますが、志願票や学業評価書はダウンロードした書類を印刷して使うことはできますか？

A: 可能です。印刷して使う場合は A4 の普通紙に印刷してください。

Q: 「志願者が記入する書類は、すべて黒または青のペンまたはボールペンで記入してください。」と書いてありますが、PC(ワープロ)で作成したものを印刷して提出することは可能ですか？

A: 可能です。ただし募集要項にセットされている書類(志願票、写真表、学業評価書)は書式を変更しないでください。

Q: 出願時に「経済理論・経済統計」、「応用経済」などの専攻を記入しますが、入学後にそれによる制約を受けますか。

A: 入学後特に制約を受けることはありません。しかし出願前に、経済学研究科・経済研究所ホームページ等で教員の専門分野をよく調べた上で、自分が指導を受けたい教員が所属する専攻を記入することを強くお勧めします。

Q: 出願書類を英語で作成しても良いですか？

A: 日本語で作成するのが望ましいですが、英語でも構いません。

Q: 入学志願票の「研究分野」の欄の書き方がわかりません。

A: ご自分の研究を行うにあたって最も関連性のあると思う科目名は何かという観点から、該当するものを選択したうえで、()内に具体的な内容を記入してください。

Q: 現在東京以外の場所に住んでいますが、受験時には東京に数ヶ月間滞在している予定です。出願書類にはどちらの住所を書けばいいですか？

A: 志願票については、「受験中の連絡先(現住所と異なる場合のみ記入すること)」に滞在場所の住所を記入してください(東京に滞在する期間が短期間に留まり、宿泊先の住所が未定の場合は当該欄に記入の必要はありません)。受験票送付用封筒については、受験票を確実に受け取ることができる住所及び受取人名を記入してくだ

さい。出願書類に不備がない場合、書類が大学に到着してから通常1～2週間で受験票を発送します。

Q: 来年3月卒業見込みですが、在籍している大学では、出願時まで正式な「卒業見込証明書」が発行されません。

A: 正式な「卒業見込証明書」が発行できないことおよび来年3月に卒業見込みであることを明記した書類を、学科主任の先生、事務室の責任者など、責任のある立場の方に作成してもらってください。

Q: 他大学の大学院で修士の学位を取得しました。卒業証明書と成績証明書は学部時代のもので大学院時代のもの、どちらを提出すればいいですか。

A: 両方提出してください。

Q: 母国の出身大学では卒業証明書の原本を1通しか発行しない制度を取っています。どうすればいいですか？

A: 最寄りの在日大使館・領事館で交付を受けた公証書を提出してください。公証書が自国語で作成されている場合は、日本語または英語の翻訳を添付してください。

なお、中国出身の方は、中国国内の教育部学歴認証センター(北京市)または各地方の公証処(各地方の司法局に認定された機関)で交付を受けた公証書を提出してください。公証書が自国語で作成されている場合は、日本語または英語の翻訳を添付してください。

Q: 研究計画書は正本1部およびその写し2部を提出することとなっていますが、正本と写しの違いは何ですか？

A: PC(ワープロ)で研究計画書を作成した場合、同じものを3部印刷して提出してください。自筆で作成した場合は、コピーを2部取り正本と一緒に提出してください。

Q: 研究計画書が2枚以上あります。クリップでまとめればいいですか？

A: 左上をステープラー(ホチキス)で止めて提出してください。研究計画書の1枚目にはご自分のお名前を忘れずに記入してください。

Q: 大学卒業後かなりの年数が経っており、出身大学には学業評価書を願いできるような教員はいません。どなたに学業評価書を願いすべきでしょうか。

A: 会社の上司、学会等で知り合った研究者、大学時代の先生など、現在のあなたの学力をよく知る人にお願いしてください。

Q: 学業評価書は所定の用紙でなければいけませんか。

A: できる限り所定の用紙を使ってください。ただしそれが不可能な場合には、評価者の所属、肩書き、署名、日付などがあれば、その他の一般的な様式のものも認めます。ただしその他の様式のものも、古いものではなく、募集要項発表後に作成したものを提出してください。

Q: 検定料の支払いに ATM を使いたいのですが、窓口で払い込む必要がありますか？

A: 出願書類としてご提出頂く必要があるのは明細書の写しですので、明細書が発行されるのであれば、ATM と窓口、どちらをお使いいただいても問題ありません。

Q: 出願書類が届いたか不安です。届いたか確認できますか？

A: 書留郵便には郵便局が提供する郵便追跡サービスが付帯しているので、そちらをご利用ください。

〇TOEFL

Q: 出願可能な TOEFL スコアの最低点は何点ですか？

A: スコアの点数は特に指定していません。

Q: TOEFL スコアが ETS から大学に届いているか不安です。確認できますか？

A: TOEFL スコアの到着状況についてはお答えできませんが、締め切りまでに出願書類が届き、ETS から TOEFL スコアが届かなかった場合は受験はできませんので、経済学研究科事務室からその旨を出願者にご連絡いたします。

〇試験全般

Q: 出題の傾向について教えてください。

A: 筆記試験、口述試験の内容に関する質問にはお答えできません。筆記試験の過去問題は、こちら

(<http://www.econ.hit-u.ac.jp/~koho/jpn/examination/graduate/kakomon.html>)

からご覧いただけます。

Q: 7月に実施される特別選抜入試は他大学の学生でも受験できますか？

A: 出願資格を満たしていれば、他大学出身の方も受験できます。出願資格については募集要項を参照してください。

Q: 7月の特別選抜入試と9月の入試の両方に出願することはできますか？

A: それぞれの入試の出願資格を満たしていれば、両方の入試に出願することは可能です。出願資格については募集要項の「出願資格」の項目をご参照ください。

Q: 試験の結果はWebで見られますか？

A: 合格発表の日の13時から17時まで合格者の受験番号の写しを経済学研究科HP上に掲載する予定です。

Q: 入試の不合格者を研究生として受け入れる制度はありますか。

A: ありません。

Q: 試験は英語で回答できますか？

A: 筆記試験の場合、2月の修士外国人特別選考入試の日本語の試験を除くすべての試験で英語での回答を認めています。また、筆記試験の出題言語は、原則として日本語または英語です。

口述試験は通常は日本語で行いますが、修士外国人特別選考で志願票に「英語による口述試験を希望する」と書いた受験生については希望を考慮します。

ただし、いずれのケースでも、審査員が必要と判断する場合には、上記の限りではありません。

Q: 他大学出身者でも合格の可能性はありますか。

A: 例年合格者のうち、ほぼ半数以上が他大学出身者です。

Q: 大学院入試のパンフレットはありますか。

A: 現在パンフレットは作成しておりません。必要な情報はすべて経済学研究科HPに記載しておりますので、HPをご参照ください。

Q: 専修コースで出願しましたが、研究者養成コースに変更できますか？

A: 出願後のコースおよび専攻の変更は認められません。